

3・11「原発なくせ」各地で

東日本大震災・福島原発事故から10年を迎えた11日、各地で「フクシマを忘れない」「さよなら原発」と訴える行動が実施されました。

フクシマを

忘れない



長野県では飯田市で11日「脱原発・自然エネルギーへの転換を求め、飯伊地域連絡会の呼びかけで国道3号沿いの交差点や雑和会病院前など7カ所

ながる会」の呼びかけで上田駅前約60人が集まってリレートーク。茨城県から上田市に避難した人が「原発事故さえなければ」と10年間の思い出を手紙に綴り、読み上げられました。

野党統一候補からの「原発に頼らない電力の確保を政策的」とのメッセージが紹介されました。

上田市では7日(土)から11日(木)まで、



「原発ゼロNAGOYA ACTION」が名古屋市中区で開かれ、市民ら200人が(主催者発表)が参加しました。

集会では、キャンドルや時の明瞭、歌などですまじ」を熱唱。日中は「福島を忘れない」を熱唱。日中は「福島を忘れない」を熱唱。日中は「福島を忘れない」を熱唱。

「原発ゼロ静岡の会」が静岡市で開かれ、市民ら200人が参加しました。会場では「福島を忘れない」を熱唱。日中は「福島を忘れない」を熱唱。

三重県桑名市では、「3・11を忘れない桑名の会」が呼びかけた「福島を忘れない」を熱唱。日中は「福島を忘れない」を熱唱。

仙台南から転居してきた70代男性は「被害は続いている」と話しました。

今後も支援続ける

岐阜県大垣市では、大垣別荘30人を迎え、市民が地震発生時刻の午後2時40分に白布を敷き、鐘を鳴らした。真宗本谷派の会主催。住職の松島善徳さん



興まではほど近いように思う。今後も支援をつないでいきたい。絶対に忘れないでほしい」と語りました。

毎週金曜日のなくせ原発駅前行動に参加している河村英一さんは「福島を忘れないで、福島を繰り返さない、魂の叫びをあげよう」のフラカードを胸に付け、力を込めて鐘を鳴らしました。

福井市では、原発ゼロをめざす市民行進が取り生まれ、「福島とともに歩もう」と訴えました。原発問題住民運動福井県連絡会の主催。

④福井

参加者らは犠牲者に黙とう。かねもと幸枝日本共産党衆院北陸信越比例(福井一区重複)候補があいさつし、県内でごり押しされている老朽原発再稼働の地元同意手続きを批判し、40年たった原発を20年延長するなど認められないと訴えました。

参加者らは「老朽原発動かすな」と訴えて行進しました。福井市の由田昭治さん(78)は「故郷に帰れない福島の人たちを見ても、原発を動かそうと考えることがわからない」と話しました。沿道で見つけた女性(80)は「福島事故を見てから、原発は怖い。明日はわが身です」と話しました。

④石川

原発をなくす石川県連絡会は、金沢市で「原発ゼロ基本法の制定を求める請願署名」を呼びかけました。「原発ゼロ」の横断幕を広げ、「なくせ原発ー自然エネルギーへの転換を」「原発ゼロー再稼働は絶対に許せない」と書いたのぼりを立てアピールしました。長曾輝夫事務局長は

「原子力に依存しない、安全・安心で持続的に発展可能な社会づくりが必要」とし、市民と

野党の共闘で「原発ゼロ基本法」を成立させようと訴えました。署名した金沢市の男

性は「使用済み核燃料の最終処理の見通しが立たない原発は廃炉にすべき」と話しました。

「やっぱり廃炉でしょ」「頑張ってください」「な」と語りかける人がいました。